

CSRの活動目標と実績

ニチアスグループは、お客さま、お取引先、株主・投資家、従業員の皆さまとのつながりはもとより、社会全般および拠点のある地域社会とのつながりを大切に、より良い関係の構築を通して社会的課題の解決に貢献します。

○ 目標達成 △ 目標に対し50%以上達成 × 目標に対し50%未満の達成

6つの軸	活動項目	目標/あるべき姿	2018年度計画	2018年度報告	自己評価	2019年度計画	
1	コーポレートガバナンス	内部統制評価	当社グループの内部統制が有効に機能し、リスクが低減され、健全な経営活動が推進されている	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体：9拠点、グループ会社：国内20拠点、海外11拠点を対象に業務監査を実施 ● 予定していたすべての拠点で監査を実施し、適切な活動が行われていることを確認 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 本体：14拠点、グループ会社：国内11拠点、海外10拠点を対象に業務監査を実施 	
	コンプライアンス	ニチアス「コンプライアンス憲章」に則り、法令・定款の順守はもとより、社会の良識、常識を踏まえたコンプライアンス活動に取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 本部委員が各支部委員会を訪問し、支部委員会活動を支援 ● 支部委員会活動の活性化と周知 ● 「コンプライアンスポータルサイト」の啓発資料を活用した教育の継続実施 ● 外部講師などによるコンプライアンス研修の実施 ● コンプライアンス内部講師の育成 ● 時間外、休日勤務の管理ルールの順守 	<ul style="list-style-type: none"> ● 本部委員が延べ39支部委員会を訪問し、支部委員会活動の支援を実施 ● 支部委員会事務局連絡会分科会を6分科会各4回開催 ● 「コンプライアンスポータルサイト」の啓発資料を活用し、すべての支部委員会で教育を実施 ● 外部講師によるコンプライアンス内部講師育成研修を東京、大阪で実施 ● 時間外、休日勤務の管理ルールについて、社内報や各支部委員会での勉強会にて啓発実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 委員会活動が形骸化している支部委員会への本部委員訪問による運営支援、啓発教育の実施 ● 法令やコンプライアンス関連の勉強会を実施 ● コンプライアンス内部講師のフォローアップ研修および新規内部講師の育成研修の実施 ● 支部委員会、職場単位での啓発教育の実施 ● 「コンプライアンスポータルサイト」の充実化継続 ● コンプライアンス内部講師による各職場でのハラスメント防止研修の実施 	
	知的財産の保護	競争優位性の確保と公正な競争秩序を維持するために知的財産の保護・尊重をグループ丸となって推進している	<ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産保護・尊重の浸透 	<ul style="list-style-type: none"> ● eラーニングの階層別研修の実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 知的財産権保護知識の浸透と階層別研修の継続 	
2	お客さまとのつながり	製品の安定供給	災害など不測の事態が発生しても、供給責任を果たせる体制が構築できている	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続的に事業活動を行っていくためのBCP活動 ● 鶴見工場：BCP対策を強化した建屋への再編完了 ● 羽島工場・樹脂部門の実績を他部門への横展開 ● 製造拠点のリスク診断の継続実施(2拠点/年)* ● ※ 想定リスク：火災、爆発、自然災害 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 継続的に事業活動を行っていくためのBCP活動 ● 製造拠点のリスク診断の継続実施(2拠点/年)* ● ※ 想定リスク：火災、爆発、自然災害 	
	品質保証体制	安全で信頼性の高い製品・サービスを提供している	<ul style="list-style-type: none"> ● クレーム発生0.21件以下(連結売上1億円当たり) ● 「品質アカデミー」受講者200名以上 ● 「QC検定」合格者30名 	<ul style="list-style-type: none"> ● クレーム発生 0.18件以下(連結売上1億円当たり) ● 「品質アカデミー」受講者 356名 ● 「QC検定」合格者 48名 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● クレーム発生 0.21件以下(連結売上1億円当たり) ● 品質教育による啓発活動の実施「品質アカデミー」「QC検定」 	
3	株主・お取引先とのつながり	株主・投資家への情報開示	株主・投資家の皆さまに公平、適切な情報開示ができています	<ul style="list-style-type: none"> ● フェアディスクロージャールール導入にともなう公平、適切な情報開示 ● 個別ミーティング 150件以上 ● 個人投資家向け会社説明会開催 ● 工場見学実施 ● 海外IRの実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 適切な情報開示 ● 個別ミーティング 140件以上 ● 個人投資家向け会社説明会開催 ● 工場見学実施 ● 海外IRの実施 	
	公正な競争・取引	公正かつ自由な競争・取引が行われる環境下で事業活動を継続している	<ul style="list-style-type: none"> ● 独禁法、下請法違反事例ゼロ ● 下請事業者への手形などでの支払方法の適正化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 独禁法、下請法に関する研修会、eラーニングを実施(違反事例ゼロをめざした順法意識の向上) ● 下請事業者への手形等での支払方法の適正化のための必要な改善を実施 ● 子会社における下請取引の実態を調査し、必要な改善を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 独禁法、下請法に関する各種研修会の実施 	
	取引に関する方針	継続した事業活動を行うために、原材料のBCP対策ができています	<ul style="list-style-type: none"> ● 原材料のBCP対策について41社すべてのヒアリングを完了し、結果を社内展開し、今後の対策を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 各本部から、提示された製品の原材料について、BCPの観点から調査を完了し、状況を把握、各本部に報告 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 主要仕入先に対して、CSRアンケートの実施 	
4	従業員とのつながり	ダイバーシティへの取り組み	多様な人材が活躍できる環境づくりに取り組んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性総合職の積極採用：採用率 20%以上 ● 障がい者雇用率の維持：障がい者雇用率 2.2%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性総合職の採用率 21.2% ● 障がい者雇用率 2.1% 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 女性総合職の積極採用：採用率 20%以上 ● 障がい者雇用率の維持：障がい者雇用率 2.2%以上
	ワークライフバランスの推進	仕事と家庭など仕事以外の生活との調和を保つ環境で働いている	<ul style="list-style-type: none"> ● 有給休暇の取得推進：有給休暇取得率 50%以上 ● 在宅勤務制度導入 	<ul style="list-style-type: none"> ● 有給休暇取得率 53% ● 制度導入に向け検討を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 有給休暇の取得推進：計画取得の推進および有給休暇取得率 70%以上 ● 在宅勤務制度の試行 	
	従業員の安全と健康の推進	従業員の健康を維持し、働きやすい明るい職場づくりを推進している	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診断二次検査受診率 100% ● ストレスチェックと集団分析の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診断二次検査受診率 100% ● ストレスチェックおよび集団分析を実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診断二次検査受診率 100% ● ストレスチェックと集団分析の継続実施 	
	従業員の安全と健康の推進	従業員の安全を守るために、災害ゼロを推進している	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大災害 0件 ● 安全作業指針(4種類)制定 ● 「指差し呼称」の定着 	<ul style="list-style-type: none"> ● 重大災害2件発生 ● 安全作業指針(3種類)制定 ● 「指差し呼称」は、作業場内決められた箇所での呼称を開始したが、定着には至らず 	△	<ul style="list-style-type: none"> ● 「指差し呼称」実施者への評価方法の検討 ● 全事業場KY指導者の育成とKY活動の再スタート ● 安全作業指針(4種類)制定 	
	従業員の安全と健康の推進	従業員の安全を守るために、災害ゼロを推進している	<ul style="list-style-type: none"> ● 安否確認ツールの申込推進と運用開始後のフォロー 	<ul style="list-style-type: none"> ● 安否確認ツール「ハザードバスター」7月運用開始、2月訓練実施 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外駐在員の安否確認 ● 安否確認ツール「ハザードバスター」定期的訓練 ● 国内従業員の安否確認 ● 避難訓練、安否確認システムの訓練の継続 ● 災害時の通信手段の再整備 ● 海外出張者の位置情報把握 	
5	社会とのつながり	地域貢献活動	ニチアスグループそれぞれの事業所が地域に共存する存在として、地域に貢献する活動を行っている	<ul style="list-style-type: none"> ● 各拠点によるCSR活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 80拠点による活動実績(詳細はP20) 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 各拠点によるCSR活動の充実
	社会貢献活動	学術研究への貢献や災害支援など、広く社会に貢献する	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術研究助成の継続 ● 寄付を通じた地域への貢献 ● 災害支援の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術助成 約2,800万円 ● 各種寄付 約1,000万円 ● 2018年西日本豪雨災害、2018年北海道胆振東部地震などに計250万円の義援金 	○	<ul style="list-style-type: none"> ● 学術研究助成の継続 ● 寄付を通じた地域への貢献 ● 災害支援の継続 	
6	環境への取り組み	コンプライアンスの徹底 環境負荷低減製品の開発 環境パフォーマンスの向上 社会との共存	環境中期方針(2016年度~2020年度)に基づく各種課題を達成している(詳細はP22)	環境への取り組みの目標・実績はP22に掲載しています			